

# 令和 6 (2024)年度 県北地域感染症対策連絡会議 (第 2 回実務者会議) 会議結果報告書

- 1 開催日時 令和 6 (2024) 年 12 月 12 日(木) 15:30～16:40
- 2 開催方法 Zoom によるオンライン開催
- 3 出席者 34 名 \*内訳:実務者 25 名(15 機関)、議長・事務局 9 名 \*詳細は別添名簿参照
- 4 議事内容 別添資料のとおり

## 【前回会議の振り返り】

前回会議の概要について振り返り、『継続的に検討、構築していく県北地域の感染症対策・体制』について改めて示した。会議設置要領の抜粋を示し、実務者会議の役割について確認し、当会議の年間スケジュールについて案を示した。

## 【議題 1】県北地域の感染症対策・体制について

### ▶ 検討事項の整理

新興感染症等の発生の際、フェーズごとに、必要となる対策や体制をまとめた。有事の際は、その都度、法律の改正や通知の発出が行われ、取扱いが変わっていくことが想定されるが、迅速、適確に情報共有を行い、地域の方針を決定できるようにするために、関係機関の連携強化と、情報共有のあり方、必要なルールについて、平時の間に共通認識を持てるよう検討していきたい。

### ▶ 主な意見は以下のとおり。

- ・各医療機関の担当する機能（例：中等症、妊産婦、小児、透析患者等）の明確化・共有が大切。
- ・医療機関ごとの対応方針・確保病床等の状況も情報共有が必要。
- ・病床確保医療機関同士での、確保病床利用状況等のリアルタイムの共有、当事者同士の協議の場が必要。
- ・日中以外（救急、夜間含む）の対応方法の情報（窓口、照会先）共有も必要。
- ・情報共有のネットワーク、神奈川の通信指令室はよかった。
- ・保健所の入院調整はたいへん有用だった、診療所が個別に入院先を探すのは困難。
- ・高齢者施設のクラスターでは、いかにその施設の中で看られるかが鍵となり、地域の感染症対応力向上の取組が大切。

（感染症の重症度でなく、動けないから入院もあるため）

- ・退院して、帰る場所がないのが問題。老々介護や独居などでの困難さが、感染症ではより浮き立つ。コロナのときは、転院調整でケアマネージャーが有用な情報源だった。
- ・在宅医療への移行も方針・意識としてあるとよい（入院医療への負荷軽減の面で）。コロナでは、医師と看護師が往診し在宅で点滴の対応をしたこともあった。
- ・県北管内は小規模のステーションが多く、コロナでは対応できるステーションが限定された。初の訪問が夜、年末年始でも対応が必要など感染症ならではの苦労もある。

## 【議題 2】来年度の計画（訓練、研修会等）について

新興感染症発生時に想定される対応フローイメージを示し、その一つ一つの工程が訓練になり得ると説明。アンケートで意見のあった、救急車の養生、感染症病床への患者の受入、防護具の着脱、救急車の消毒などを訓練として提案した。

### ▶ 主な意見は以下のとおり。

- ・救急車の養生訓練の必要性は感じている。特に、発生初期の頃の感染性や病原性が不明の時の養生の方法の共有を希望。
- ・救急車の養生はある程度慣れた。医療機関など他の関係機関との連携訓練は希望。

- ・全体の流れを通した訓練を机上ではなく実際に動くような形で行うことを希望。
- ・感染症病床の見学、防護具の着脱訓練、感染対策向上加算の施設基準にも適合する訓練などのアイデアがある。

## 【まとめ】

### ▶合意・了承事項

#### 1) 実務者会議の役割

地域の感染症体制の整備に係る検討、それに伴う訓練、研修会の計画及び実施。

#### 2) 本会議の運営に関する年間スケジュール：案のとおり

実務者会議で合意が得られたので、代表者会議で諮る。

#### 3) 県北地域の感染症対策・体制の整備

新興感染症等の発生の際、情報共有のあり方、ルールが必要。

平時の間に共通認識を持っておくため、今後、意見照会予定。

#### 4) 来年度の訓練について

『新興感染症の流行初期における、感染症指定医療機関への救急車による疑似症患者の搬送・受入』を行う予定。今後、関係機関との調整を諮る。

訓練内容等については、代表者会議で諮る。

No.	区分	機関名称	職位	氏名
1	医師会	那須郡市医師会	事務長	渡邊 秀樹
2		塩谷郡市医師会	事務長	齋藤 雅彦
3		南那須医師会	会長	佐藤 充
4	医療機関	那須赤十字病院	院長補佐兼感染管理室長	福島 史哉
5			感染管理担当看護師長	藤田 明美
6			臨床検査課長兼感染管理担当臨床検査技師	薄井 啓一郎
7			調剤課長補佐兼感染管理担当薬剤師	高野 尊行
8			教育研修推進室兼感染管理室主任	小竹 諒
9			感染管理主事	深谷 梨恵
10		国際医療福祉大学病院	感染対策管理部部長	高橋 和郎
11			感染対策管理部 看護師長	西尾 こゆる
12			感染対策管理部 看護副主任	吉成 由作
13		菅間記念病院	感染対策室専任看護師	長谷川 弘子
14			専任薬剤師	鈴木 圭
15			専任検査技師	薄 里美
16		那須北病院	医療安全・感染対策管理室 師長	池澤 恵美子
17		国際医療福祉大学塩谷病院	感染対策管理室 看護師	大塚 明子
18		那須南病院	看護師	山寺 賢
19	訪問看護	訪問看護ステーション協議会	県北支部長	鳥居 香織
20	消防本部	那須地区消防本部	副主幹	常盤 達也
21		塩谷広域行政組合 消防本部	消防司令補	門前 聡
22		南那須地区広域行政 事務組合消防本部	課長補佐	佐藤 祐吉
23			主査	平野 悦之
24	地域健康福祉センター	矢板健康福祉センター	所長補佐（総括）兼保健衛生課長	舘脇 悦子
25		烏山健康福祉センター	所長補佐（総括）兼保健衛生課長	和氣 桂子
26	議長	県北健康福祉センター （県北保健所）	所長兼地域保健部長	渡辺 晃紀
27	事務局		地域保健部長補佐（総括）	星野 典子
28			部長補佐兼健康対策課長	阿久津 里美
29			主査	沖田 花子
30			保健師	三谷 絵理穂
31			保健師	伊丹 沙耶香
32			保健師	大橋 裕香
33			技師	奥田 美咲